

播磨/但馬の境生野峠の北但馬路 朝来市竹田
天空に浮かぶ竹田城 再訪 2020.9.4.
天空に浮かぶ竹田城 & 但馬の王墓 茶すり山



標高353m
城山

竹田城

竹田駅

円山川

播磨自動車道

朝来IC

至 生野峠

●竹田城展望
立雲峡

山陰道 & 国道9号線
和田山

和田山IC

朝来埋蔵文化センター
茶すり山古墳

北近畿豊岡自動車道

至福知山

山東町

与布土の郷

●やまびこの郷



播磨と但馬を分ける中国山地生野峠を北に越えて 山合いの田園都市朝来市に入ってもなく竹田の街から見上げる山上に広がる城郭の石垣群 谷筋に霧が立ち込める早朝には立ち込めた雲の中にぽっかり浮かぶ天空の城として有名になった竹田城。 神戸から播但自動車道を使って約1時間半。 久しぶりに登ってきました。

2020.9.4. 城下町竹田の街の山上にそびえる竹田城跡 城郭の石垣群



2020年9月

いまだ収束の見通しの立たぬコロナ禍ですが
秋の訪れにほっと一息
小さい秋探しに

播磨と但馬の境中国山地生野峠を越えると日本の原風景“田舎”が残る山郷 朝来
円山川が流れ下る谷筋 はもう実りの秋景色
久しぶりに初秋を迎えた朝来の天空に浮かぶ竹田城を訪ねました
2020.9.4. 標高353m城山の山上 竹田城より



天空に浮かぶ竹田城



竹田城の展望台立雲峽



竹田城展望食事



茶すり山古墳 竹田城遠望



播磨/但馬の境 生野峠の北 朝来市竹田
天空の城 竹田城跡再訪 Map 2020.9.4.

道の駅但馬のまほろ
埋文センター

但馬の大王
茶すり山古墳

天空の城
竹田城

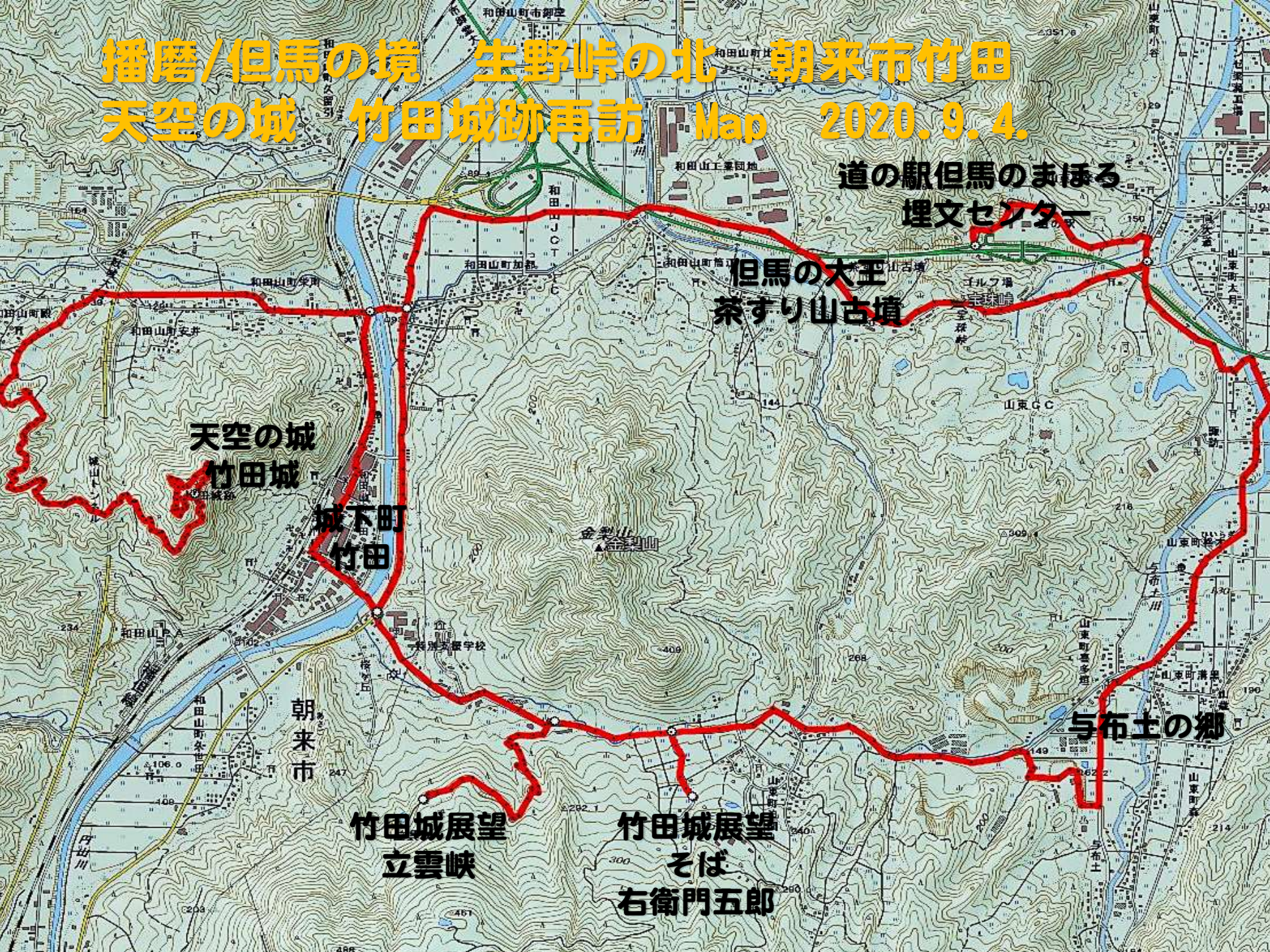
城下町
竹田

朝来市

竹田城展望
立雲峽

竹田城展望
そば
右衛門五郎

与布土の郷



竹田の城が見おろす山郷は
実りの秋を迎えた里の秋
日本の原風景“田舎”が残る山郷 朝来



2020.9.4. 朝来市与布土の郷で



2020.9.4. 実りの秋を迎えた朝来市与布土の郷で



2020.9.4. 朝来市与布土の郷で



日本の原風景“田舎”が残る山郷 朝来
2020.9.4. 実りの秋を迎えた朝来市与布土の郷で

播磨/但馬の境生野峠の北 朝来市竹田 天空の城竹田城 再訪Map 2020. 9. 4.



國史跡

伊田城跡

兵庫県朝来市



久しぶりの再訪 どんな姿で迎えてくれるのか
また、山上から眺める里の秋景色も楽しみ。胸ワクワクで竹田の城へ

天空の城 竹田城



円山川沿いの国道321号 朝来市竹田で



Google Earth 円山川沿いの国道321号を北へ竹田の街に入る





朝来市 天空の城 竹田城跡 2020.9.4.

円山川が南北に流れる谷筋 東側より竹田の街越しに眺める



2020.9.4. 竹田の街の南 中国山地生野峠から円山川が流れ下る谷筋
標高353m城山山上 竹田城より 竹田の街を流れる円山川



2020.9.4. 竹田の街の南 中国山地生野峠から円山川が流れ下る谷筋
標高353m城山の山上 竹田城より



2020.9.4. 標高353m城山山上 竹田城 城郭の石垣群

国史跡 竹田城跡

兵庫県朝来市



竹田讓へ登る出発点 城山の中腹「山城の郷」駐車場の案内所の人に勧められ、
天空に浮く竹田城をバックに 2020.9.4. 竹田城案内施設 山城の郷で

竹田城へのルート 竹田の街の北側から城山の裏側に回り込んで、山城の郷からドライブウェイを歩く散歩道



天空の城と有名になって、大勢の人がお城への道が人と車でごった返し、交通整理がなされ、以前のように勝手に登れない。

朝来市のホームページに推奨の道として、竹田の街の北側からくると山の裏側へ回り込み、竹田城案内施設「山城の郷」から登るルート。山城の郷には案内所や駐車場などが整備され、さらにバス・タクシー乗り継いでかつての中腹駐車場まで行き、そこから登るルート。

かつての中腹までの車は禁止になっていました。(バスとタクシーはOK)

また、竹田の街中の竹田駅裏から徒歩で登る道はあるのですが、駐車場が街中で、様子が解らずで、山城の郷に車を置いて、歩いて上ることに。

ハイキングでなければ小さな山ですが歩いて登るにしても、駅からバスで山城の郷へ行くのが正解と。

HOME PAGEには左の案内図と下記コメント書きされていました。

中腹駐車場までの登山道は道幅が狭く危険なため、登られる方の安全を確保するべく、竹田城跡への侵入につきまして下記のとおりとなりますのでご協力お願いいたします。

区間

一般車両でお越しの方は、山城の郷までしか入れません。中腹駐車場へは、徒歩もしくは、天空バス、タクシーをご利用ください。

※南登山道(新町、城南台側)からは車では登れません。

※駐車場台数: 山城の郷100台

播磨/但馬の境 生野峠の北 朝来市竹田
天空の城 竹田城跡再訪 Map 2020.9.4.



道の駅但馬のまほろ
埋文センター

但馬の大王
茶すり山古墳

天空の城
竹田城

城下町
竹田

朝来市

与布土の郷

竹田城展望
立雲峽

竹田城展望
そば
右衛門五郎

天空の城 竹田城



Google Earth 円山川沿いの国道321号を北へ竹田の街に入る

左手の山之上に竹田城の城郭のシルエットが見える。久しぶりに仰ぐ竹田城
竹田の城下は円山川の向こう側竹田城の山裾。城下の方へ折れずそのまま国道を北



Google Earth 国道321号を北へ竹田の街を抜けて ほどなく加都の交差点
交差点を左に折れて県道に入り城山の裏側へ



**Google Earth 竹田の街の北の端を東へ 円山川・播但線を渡り城山の裏側へ
家並みを抜けると城山をトンネルで抜けてきた播但道美しいアーチ橋**



県道
136
路線

朝来市
和田山町安井

県道136号 城山の後ろの田園を渡る美しい橋
アーチを幾つも並べ実りの田を渡る並べた播但自動車道 虎臥大橋
この橋のむこうから左へ回り込めば、竹田城への登り口施設「山城の郷」



2020.9.4. アーチを幾つも並べ実りの田を渡る
播但自動車道 虎臥大橋
この橋のむこうから左へ回り込めば、
竹田城への登り口施設「山城の郷」



Google Earth
Google Earth



Google Earth 城山の裏側からの竹田城登り口 山城の郷へ



Google Earth 城山の裏側から右手端山上に竹田城



Google Earth 城山の裏北側登山口 竹田城の登り口施設 山城の郷

ここへは竹田駅から路線バス・タクシーが付通じており、また、の中腹まで専用ドライブウェイをタクシー・路線バスが通じている。自家用車はこの上へは登れない案内所でここから歩いて1時間弱で竹田城まで聞き、ハイキング。

山城郷から眺める東側竹田の街　　もう随分高い丘に登っている
竹田の街が見え、その奥に　左に金梨山　右に立雲峡の朝来山
その間をぬけると与布土の里　遠く丹波との境　栗鹿山がかすんでいる

2020.9.4.　竹田城の起点施設　山城の里から眺める竹田の街

竹田城へのルート 山城の郷から徒歩1時間弱舗装された林の中の散歩道

「山城の郷」から林間のドライブウェイを歩いて、関係者専用中腹駐車場バス・タクシー終点へ
ここから ドライブウェイと分岐して、山上竹田城への道.

なだらかな傾斜道 城山の裏側から表側に回り込んで少し歩けば竹田城大手門入口
いずれも舗装道路で 街から見上げるきつい道でなく、ゆっくりと歩いて約1時間の散歩道





タクシー・バス専用道路
山城の郷→登り口間 一方通行

◎登り口
タクシー・バス停

竹田城

料金所◎

竹田駅

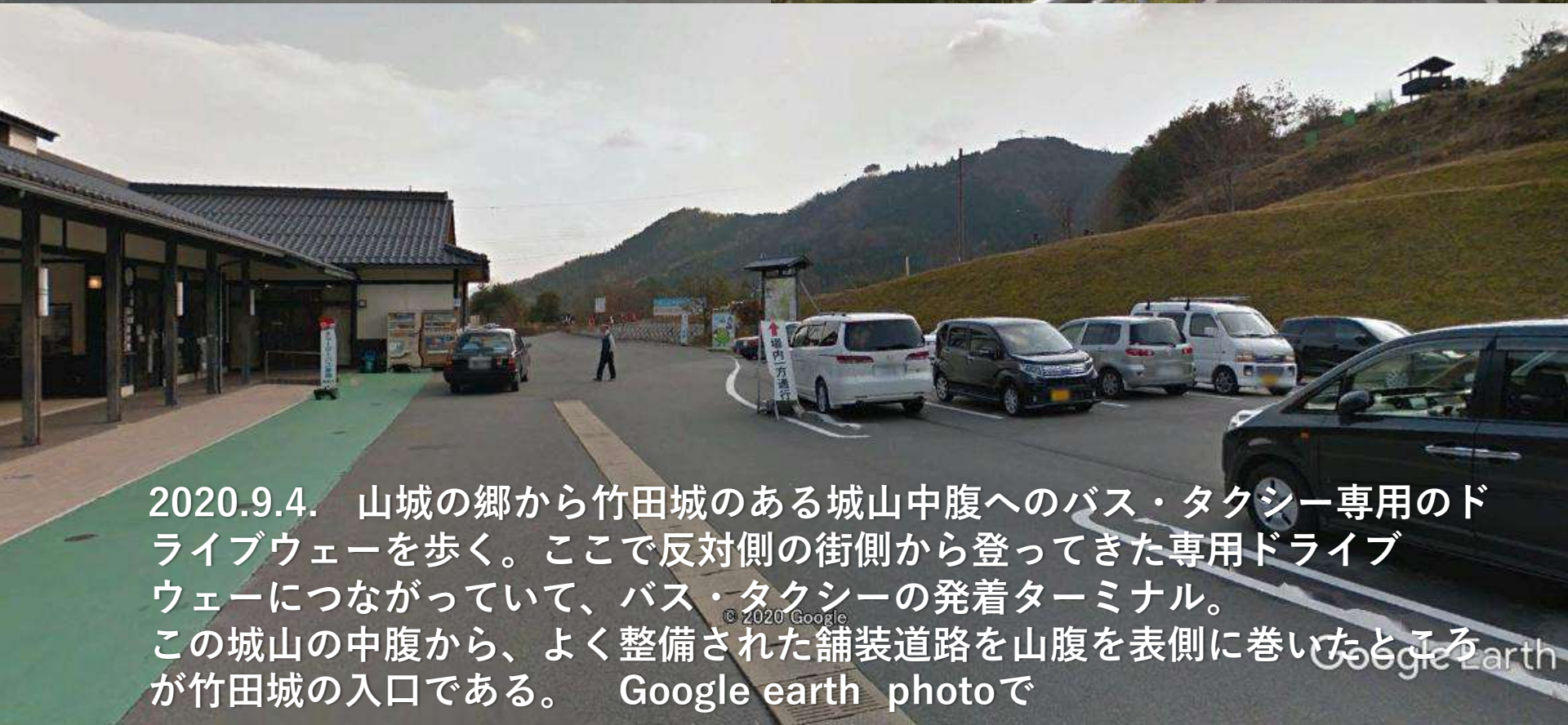
山城の郷

播磨連絡有料道路

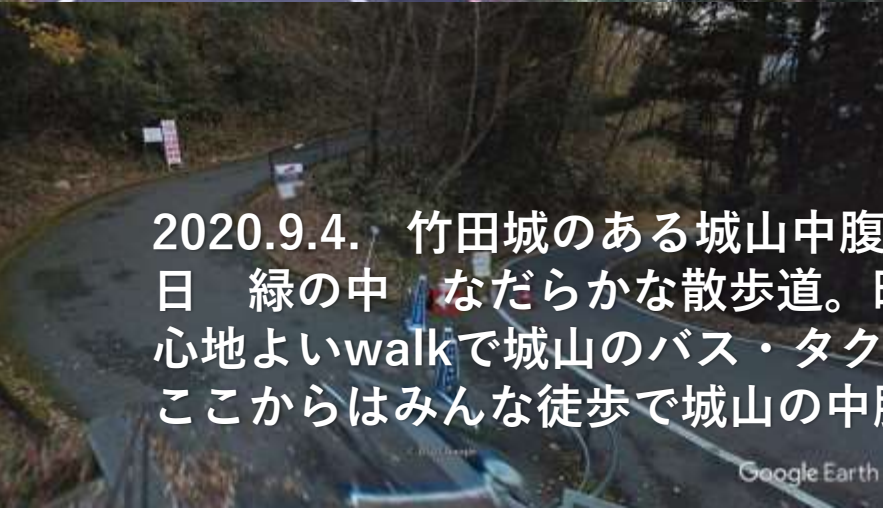
虎臥大橋

© 2020 ZENRIN





2020.9.4. 山城の郷から竹田城のある城山中腹へのバス・タクシー専用のドライブウェイを歩く。ここで反対側の街側から登ってきた専用ドライブウェイにつながっていて、バス・タクシーの発着ターミナル。この城山の中腹から、よく整備された舗装道路を山腹を表側に巻いたところが竹田城の入口である。 Google earth photoで



2020.9.4. 竹田城のある城山中腹へのバス・タクシー専用道。よく晴れた平日 緑の中 ならかな散歩道。時折、一方通行のタクシーが通るのみ。心地よいwalkで城山のバス・タクシー発着点に。ここからはみんな徒歩で城山の中腹を表側に巻いて、竹田城の料金所へ
Google earth photoで



2020.9.4. 少し傾斜は出てきましたが、山腹を表側に巻いて、町側の景色が樹木の間から見えだし、表からの登山道も合流。山上竹田城の石垣が正面に見えだし、竹田城の料金所前。急な表登山道を登るよりはよかったかも…

Google earth photoで



料金所から大手門へ
いよいよ山上の竹田城跡へ



史跡 竹田城跡

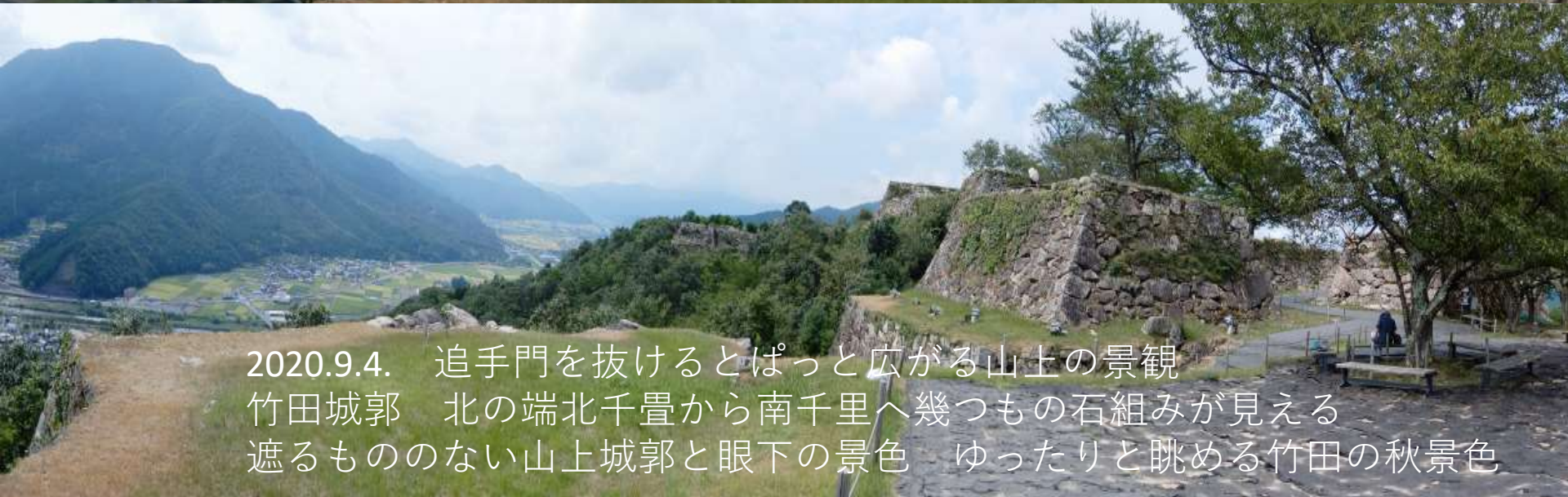




2020.9.4. 山上の竹田城 追手門へ登る階段道
山上はもう すぐ上だ



2020.9.4. 追手門を抜けるとぱっと広がる山上の竹田城郭 追手門
よく整備され、一寸の狂いもなく組み上げられた石垣群
解放された自然空間の中に程よく調和した石垣群
下で見るのとはまた別の素晴らしい景観です



2020.9.4. 追手門を抜けるとぱっと広がる山上の景観
竹田城郭 北の端北千畳から南千里へ幾つもの石組みが見える
遮るもののない山上城郭と眼下の景色 ゆったりと眺める竹田の秋景色



2020.9.4. 竹田城郭 北千畳 北千畳の東縁より眺める竹田の城下



2020.9.4. 山上に北千畳の広場から南に広がる竹田城郭 天守台を眺める



2020.9.4. 竹田城郭北千畳の北東縁から眺める 朝来市和田山
古代から山陰と大和・京を結ぶ街道の要衝。
古墳時代但馬の大王の王城の地 卑弥呼の時代の古墳が数多くある



2020.9.4. 竹田城郭北千畳





2020.9.4. 竹田城郭 北千畳の北端縁から眺める播但自動車道虎臥大橋



2020.9.4. 竹田城郭の中心天守台



2020.9.4. 山上の竹田城跡には一つも建物がなく、石垣群。
そして たくさんの桜の木が植えられている。
桜が咲き誇る春もまた美しい景色だろう。



2020.9.4. 竹田城の中心部天守台へ
幾つも連なる石垣の石組が本当に美しい
建物がひとつもないこの石垣群が竹田城跡の魅力



2020.9.4. 南北に広がる城郭 奥の北千畳・天守台を眺める
南北に広がる城郭の左縁からは眼下に広がる竹田城下が一望



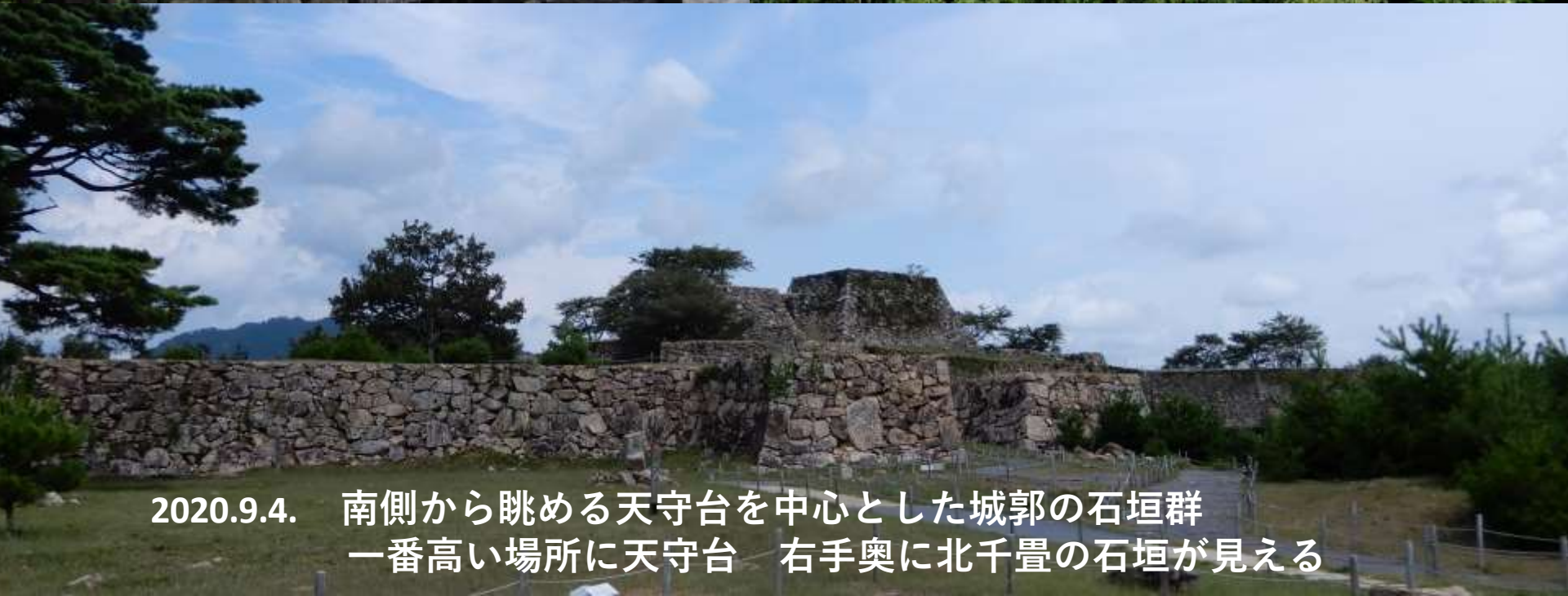
2020.9.4. 天守台から東側 眼下に竹田の城下を眺める



2020.9.4. 天守台に登って眺める南千畳の石垣群から南の生野峠方面



2020.9.4. 天守台から眺める南千畳の石垣群から生野峠方面
この景色がマチュピチの景色に似ているという



2020.9.4. 南側から眺める天守台を中心とした城郭の石垣群
一番高い場所に天守台 右手奥に北千畳の石垣が見える



2020.9.4. 竹田城跡 南千畳から北側に広がる天守台を中心とした
城郭の石垣群を振り返る



2020.9.4. 竹田城跡 南千畳から北側に広がる城郭の石垣群を振り返る



2020.9.4. 竹田城跡 南千畳の石垣群から生野峠方面
この景色がマチュピチの景色に似ていると



2020.9.4. 竹田城跡より南の生野峠方面 実りの秋景色





マチュピチの景色に似ているといわれる素晴らしい天空の城
もう一度 竹田城下から見上げたいと思いつつ 山を下りる 2020.9.4.



- ◎ 天空の城のベスト展望所
竹田城下のすぐ東 立雲峡
- ◎ 卑弥呼の時代 の和鉄の道の痕跡
大和と結んだ但馬の大王の墓
大量の鉄製品副葬の茶すり山古墳を見学に

竹田城下からもう一度 天空の城 山上の竹田城を眺める、
もう一つ訪ねたかった茶すり山古墳見学に
この古墳からも遠く竹田城が遠望されました。
2020小さい秋探しての但馬でのうれしい一日でした

竹田城の案内ほかに使われるこの美しい景色は「竹田城下のすぐ東側
朝来山の山腹 立雲峡からの姿」と案内所で教えてもらい、立雲峡へ
ちょうど近くにこの同じ景観を見ながら食事できる蕎麦屋もあると聞
いて 昼食はそこで。もう一つ行きたかった鏡や大量の鉄製品が副葬
されていた但馬の大王の茶すり山古墳へ足を延ばすことに。



天空に浮かぶ竹田城



与布土の里の田園

竹田城の展望台立雲峽

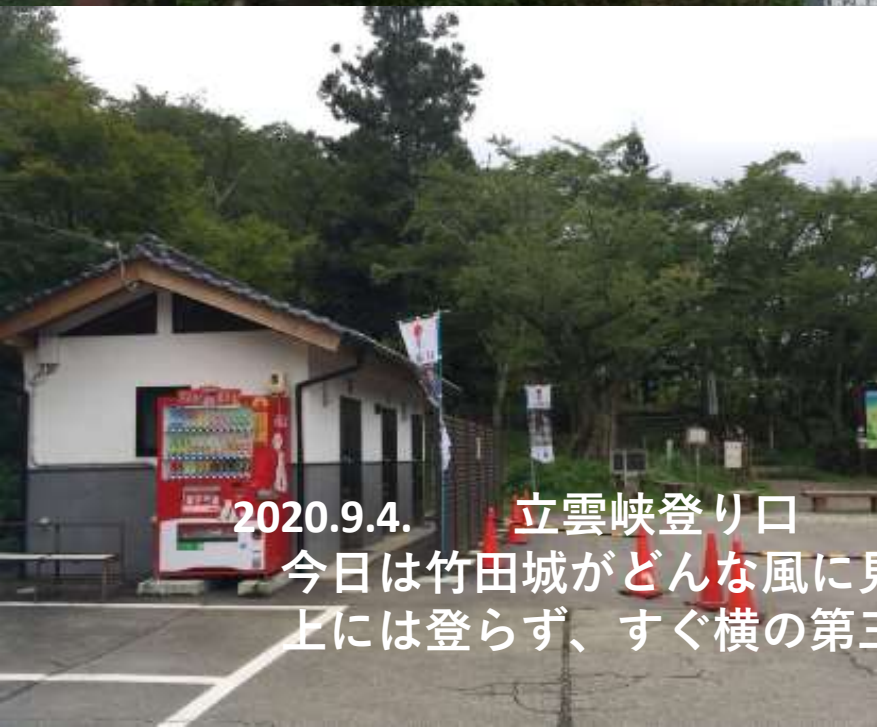


竹田城展望食事



茶すり山古墳 竹田城遠望





2020.9.4. 立雲峡登り口

今日は竹田城がどんな風に見えるか確かめるのが目的なので、
上には登らず、すぐ横の第三展望台から竹田城を眺めて昼食に





朝日が昇る朝霧の中
立雲峡から眺めるのが
一番美しいといわれる竹田城跡



一番美しいといわれる立雲峡から眺める
竹田城跡 2020.9.4.

竹田城跡から眺める立雲峡方面





2020.9.4. 立雲峡 第三展望台から眺めた竹田城



2020.9.4. 立雲峡 第三展望台から眺めた竹田城

立雲峡のすぐ近くのお蕎麦の店からも 天空の城を眺めることができました
店を出ると「ピーヒョロ ピーひょろ」と鳴く声 林の樹木にトンビが2羽
日本の原風景 田舎が残るこの町 2020のどかな小さい秋に包まれて





2020.9.4. 標高353m城山山上 竹田城 城郭の石垣群



城下町竹田の街の山上にそびえる竹田城跡 城郭の石垣群
神戸から播但自動車道を使って約1時間半
数十年ぶりに登った竹田城
山上の城郭石垣群がこんなにきれいになって
見晴らす郷も日本の原風景と言われる実りの秋
コロナ禍でもやもやしていた気分も フレッシュな空気を胸いっぱい
うれしい小さい秋 み～つけ 2020.9.4. 竹田城を見上げながら



山陰道

&

国道9号線

和田山

朝来埋蔵文化センター

茶すり山古墳

和田山IC

至福知山

北近畿豊岡自動車道

標高353m

城山

竹田城

竹田駅

山東町

与布土の郷

播磨自動車道

円山川

朝来IC

●竹田城展望
立雲峽

●やまびこの郷

至 牛野峠

是非一度訪ねたかった古代和鉄の道の痕跡

国指定史跡 但馬の大王の墓 茶すり山古墳(朝来市)を訪れる

大和と密接な関係を持ち、鏡や多量の鉄製品が副葬されていた

古墳時代(5世紀)の近畿最大級の直径約90m円墳



国史跡 但馬の大王の墓 茶すり山古墳(朝来市) Map 2020.9.4.

竹田城下北の和田山IC手前を東へ山東へ抜ける県道128号の山合い
和田山から丹波へ北近畿自動車道沿いの和田山と山東の境に茶すり山古墳
竹田城下から車で20分ほど三角の美しい姿の茶すり山の山麓

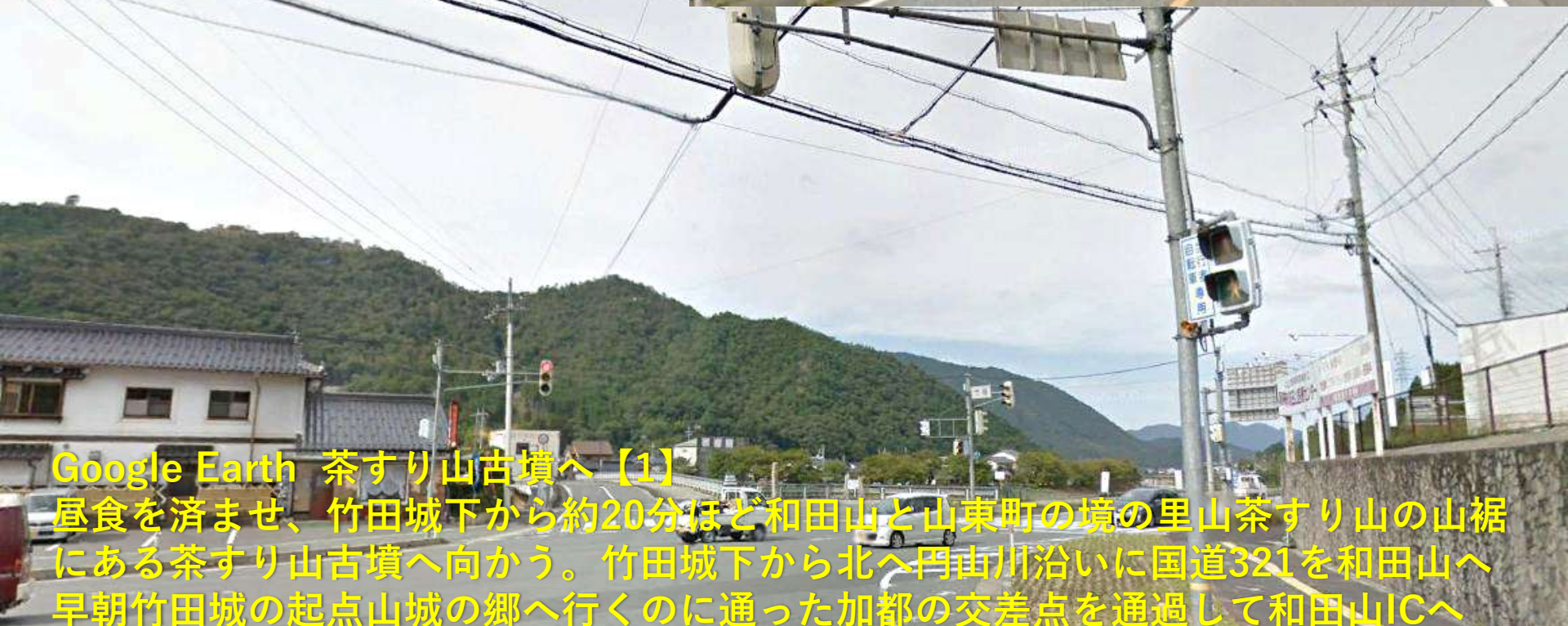


国指定史跡 茶すり山古墳(朝来市)

古墳時代(5世紀) 大和と密接な関係の但馬の大王の円墳 直径約90m

この地の茶すり山古墳・池田古墳からは鏡や大量の鉄製品等が出土し、この地域が古墳時代 大陸・朝鮮半島と大和を結ぶ和鉄の道の重要地であることを示す。 また、竹田城 そして今も古墳をかすめて国道・高速道路東西・南北に走り、この地が今も交通の要衝である
また、古墳からは遠く竹田城が遠望されていました。





Google Earth 茶すり山古墳へ【1】

昼食を済ませ、竹田城下から約20分ほど和田山と山東町の境の里山茶すり山の山裾にある茶すり山古墳へ向かう。竹田城下から北へ円山川沿いに国道321を和田山へ早朝竹田城の起点山城の郷へ行くのに通った加都の交差点を通過して和田山ICへ



Google Earth 茶すり山古墳へ【2】

加都の交差点を通過するとまもなく城山のトンネルを抜け、大きく東へカーブして和田山ICに入る播但自動車道の高架が正面に。

右折れ山東町へ向かう県道136号そして茶すり山の案内標識が見え和田山IC前に



Google Earth 茶すり山古墳へ【3】

和田山IC前で東に折れて県道136にはいり、和田山IC・南東の丹波に向かう北近畿自動車道に沿って東へ 正面に和田山と山東町の境にある三角の美しい山が見える。これが茶すり山茶すり山古墳はこの山のふもとの道沿いにある。





Google Earth 茶すり山古墳へ【4】

北近畿自動車道の端をくぐり一旦北側へ出ると、茶すりや間の山裾道の正面に茶色の丘が見えてきた。これが茶すり山古墳だった



Google Earth 茶すり山古墳へ【4】
再度北近畿自動車道の橋をくぐると茶すり山古墳の正面
円墳という小さなイメージなのですが、本当に大きな円墳 但馬の大王の墓だ

国史跡 茶すり山古墳

茶すり山古墳(和山町筒江)は、平成13・14年度・平成17年度の発掘調査により、その全貌が明らかになりました。
直径約90m、高さ約18mを誇る円墳で、近畿地方で最大の規模を誇ります。古墳の斜面には石が敷かれ、また、古墳頂上につくられた埋葬施設の上やその外周、斜面中ほどにつくられた平庭地(テラス)に、円形を中心とした埴輪が規則正しく配置されていました。

茶すり山古墳は5世紀前半につくられた古墳で、古墳の頂上につくられた2つの埋葬施設からは、4箇の組のほか、武器を中心とした豊富な副葬品が見つかりました。このことから茶すり山古墳に葬られた被葬者は、畿内の大王とつながりを背景に、武力により地域を治めていたと考えられます。朝来市内に存在する池田古墳(和山町平野)や船宮古墳(桑市)などとともに但馬を治めた王の墓と考えられています。

茶すり山古墳は、平成16年(2004)2月27日に国史跡として指定を受けました。朝来市では平成17年度～21年度に保存整備工事を行い、古墳を復元しました。また、出土した遺物は、朝来市歴史文化財センターで展示しています。



朝来市歴史文化財センター
台代ふりこ館

朝来市山崎町ふりこ館
電話 079-4770-0300

【開館時間】
午前9:00～午後5:00
入館料 大人400円 小児200円

【休館日】
月曜(日曜の代わり)
土曜(日曜の代わり)
祭日

2020.9.4. 国史跡 茶すり山 南東側より テラスに埴輪が並べられて
よく整備され本当に美しい円墳 こちらからも円形がよく見える

国史跡 茶すり山古墳

茶すり山古墳(和田山町筒江)は、平成13・14年度・平成17年度の発掘調査により、その全貌が明らかになりました。

直径約90m、高さ約18mを測る円墳で、近畿地方で最大の規模を誇ります。古墳の斜面には石が葺かれ、また、古墳頂上につくられた埋葬施設の上やその外周、斜面中ほどにつくられた平坦地(テラス)に、円筒形を中心とした埴輪が規則正しく配置されていました。

茶すり山古墳は5世紀前半につくられた古墳で、古墳の頂上につくられた2つの埋葬施設からは、4面の鏡のほか、武器を中心とした豊富な副葬品が見つかりました。このことから茶すり山古墳に葬られた被葬者は、畿内の大王とのつながりを背景に、武力により地域を治めていたと考えられます。朝来市内に存在する池田古墳(和田山町平野)や船宮古墳(桑市)などとともに但馬を治めた王の墓と考えられています。

茶すり山古墳は、平成16年(2004)2月27日に国史跡として指定を受けました。朝来市では平成17年度～21年度に保存整備工事を行い、古墳を復元しました。また、出土した遺物は、朝来市埋蔵文化財センターで展示しています。



朝来市埋蔵文化財センター 古代あさご館

朝来市山本町大月91番地2
(電話 079-670-7330)

【開館時間】
午前9:00～午後5:00
(入館は午後4:30まで)
【休館日】
月曜日・祝日の翌日
【入館料】
無料

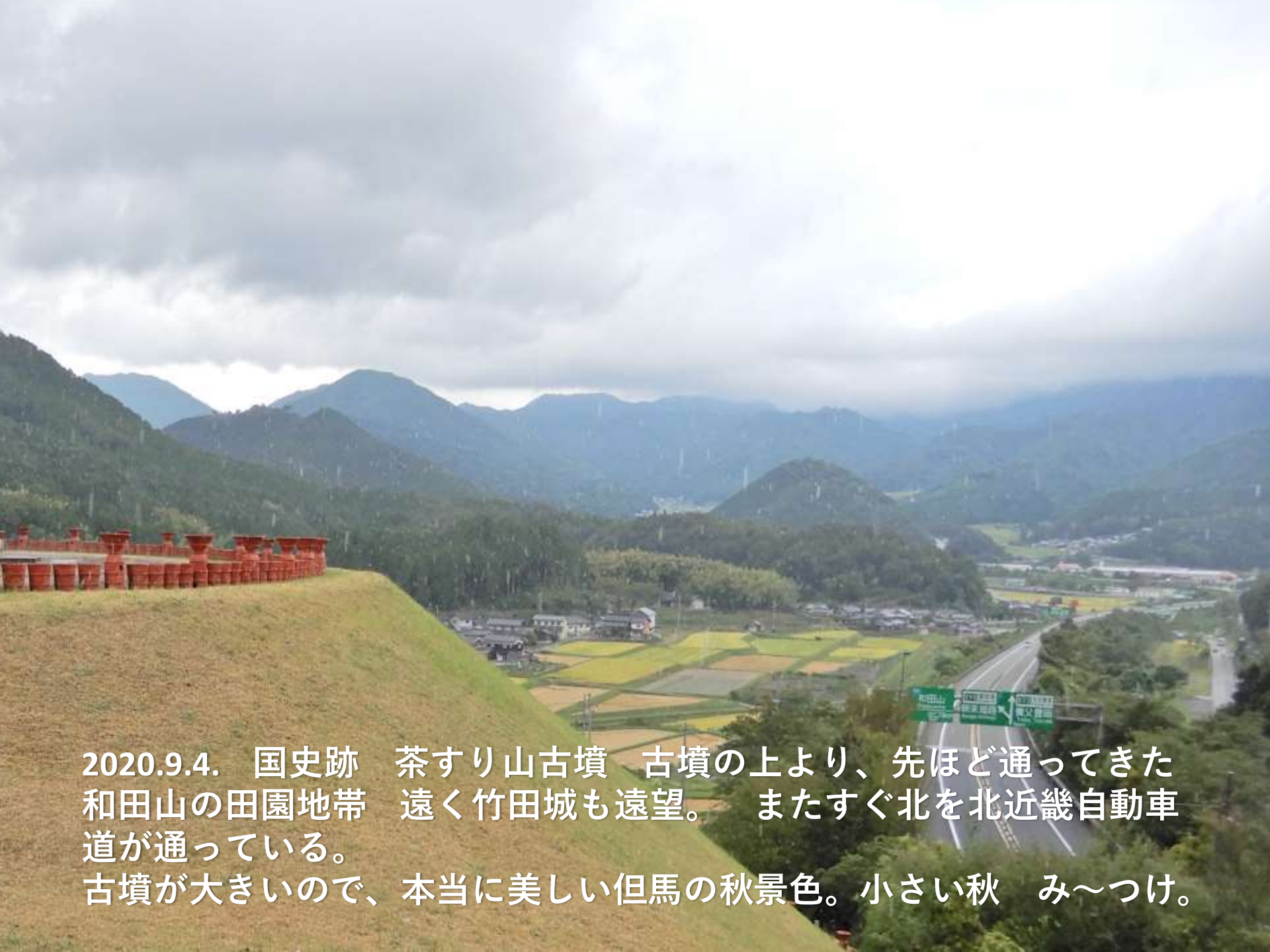


2020.9.4. 国史跡 茶すり山

北側に回り込んでつけられた道から古墳の頂上へ

緑の中に包まれて心地よいが、天気は気まぐれ 大粒のわか雨





2020.9.4. 国史跡 茶すり山古墳 古墳の上より、先ほど通ってきた
和田山の田園地帯 遠く竹田城も遠望。 またすぐ北を北近畿自動車
道が通っている。
古墳が大きいので、本当に美しい但馬の秋景色。小さい秋 み～つけ。



2020.9.4. 国史跡 茶すり山古墳頂上 南西側竹田城・和田山の田園地帯
通過してきた県道136号・北近畿自動車道沿いの田園地帯
実りの秋を迎えた田園が美しい。



2020.9.4. 国史跡 茶すり山古墳 頂上

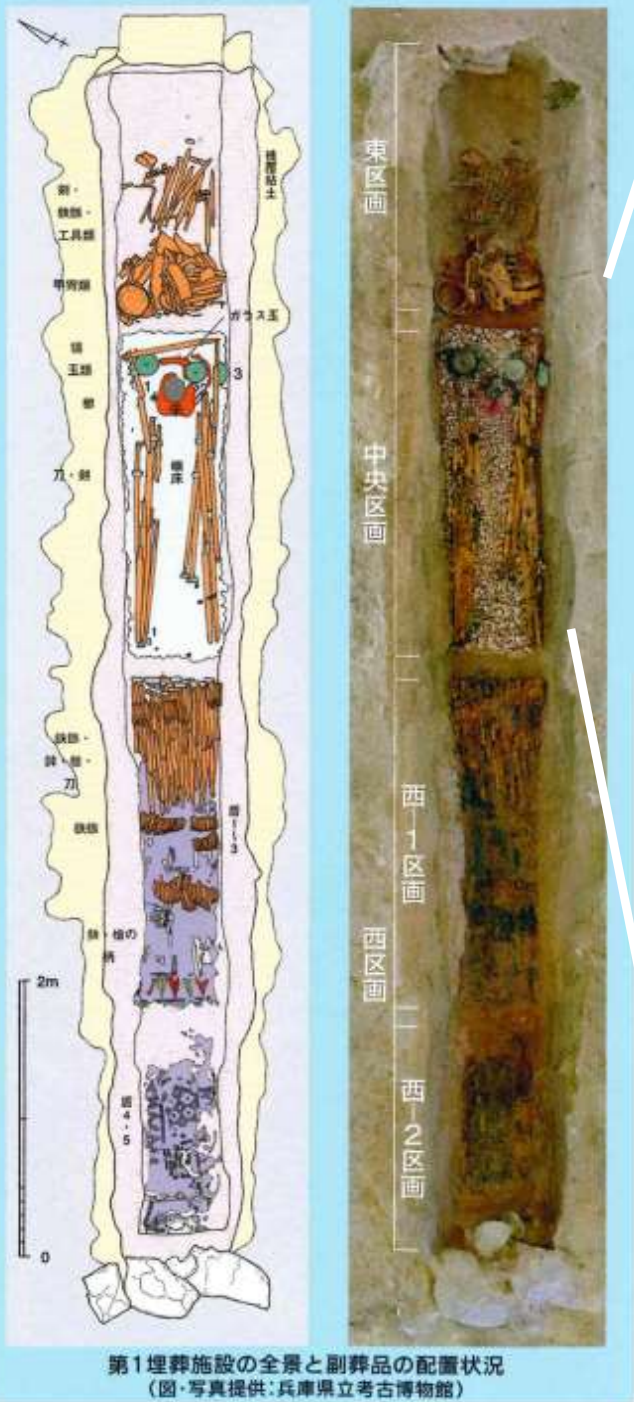
周囲を取り囲んで埴輪が復元され、頂上中央部には多くの副葬品と共に
但馬の王が眠る2つの木棺埋葬施設が復元されている

左:第一埋葬施設 右: 第二埋葬施設



Google Earth 国史跡 茶すり山古墳 全景
周囲を取り囲んで埴輪が復元され、頂上中央部には多くの副葬品と共に
但馬の王が眠る2つの木棺埋葬施設が復元されている

上(南):第一埋葬施設 下(北): 第二埋葬施設。
31 m 頭を東 足を西に横たわっている



中央区画
遺骨の上方に鏡・装飾品



頭の上方 冑と鉄剣



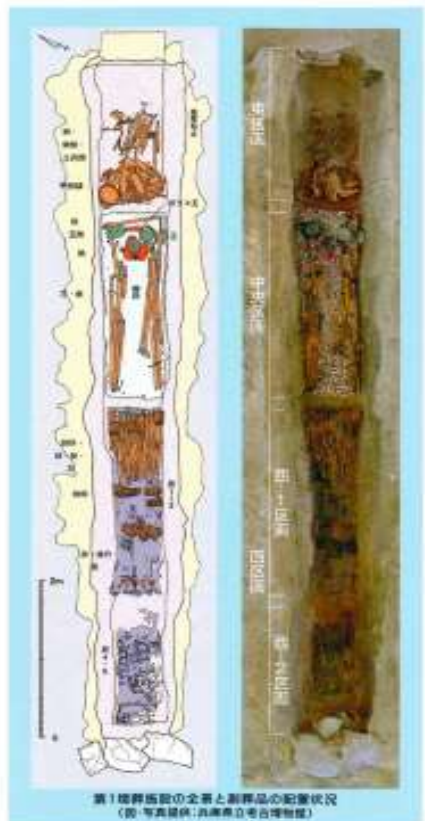
足の下方 多量の鉄製品

第一埋葬施設 頭を
東

第1埋葬施設

第1埋葬施設は、長い板を組み合わせた棺です。長さ8.7mを測る長大なその棺は3(あるいは4)部屋に仕切られています。なかからは、中央区画とよんでいる、玉砂利の床に安置されていました。遺骨がないため、男女の別は不明です。

そして、東区画・西区画には、武器である甲冑や刀剣・槍・弓矢などの武器が隙間なく納められました。棺の全体は、装飾を施した草製の席に覆われていました。副葬品の出土総数は1,761点。まるで、武器庫さながらの様相です。



【東区画】

王の頭部に近い場所からは、甲冑2個が出土しました。うち一つは鍔付きの短甲、これは大和王権の中期であった畿内においても、ごく限られた古墳でしか見つからないほど貴重なもの。畿内以外の古墳では出土例がないことから、茶すり山古墳の王が誇った権力の強大さが分かります。

このほかに、鎧の武器・工具有りますが、いずれも2個の甲冑とともに、大和王権の大王から直接賜ったものであると考えられます。



畿内の大王から賜った鍔付き短甲・工具



甲冑の出土状況(写真提供:兵庫県立考古博物館)



鍔付きの短甲とひと

【中央区画】

水磨米が押げられた頭部を中心に、銅鏡3面・アタセザリ・刀剣類が納められていました。刀剣のうち、王の右肩付近に納められた短行刺は、神官としての側面を感じさせます。

なお、玉砂利を敷き詰められた床に、床柱でなきから安置する方法は近畿地域の古墳にみられる伝統的な埋葬方法です。



短行刺(左より)出土したもの・王の右肩にあったもの・東区画で見つかった(大王から賜った)もの



上より時計回りに銅鏡3面(清盛立鏡・熊鷹鏡・対馬式神鏡)ガラスのアタセザリ・短玉・うしろの短玉

【西区画】

副葬品の配置から、2つの部屋に分かれていた可能性があります。王の足元に近い部分には刀・剣・槍・矢じりなどの鉄製武器が、他の区画には、あて文様を施し、漆で塗り固めた木製の弓が納められました。棺全体は草席で覆われていますが、西端だけは、漆が2枚重ねになっていたようです。



手前より時計回りに矢じり・短剣・短刀(矢じりの一部は、東区画出土品)



漆に塗られた短剣



漆に塗られた短剣

【中央区画】

写真右端付近に見える、2つの大きな石は、土が平らです。これは死者の枕、これを基点に墓などの出土状況がかんがえられ、そこに眠る人は、髪えられた髪に顔をさし、アタセザリを身に付け、そして胸に横たわった状態で安置されたことが分かります。



土が平らな石のありさま(写真提供:兵庫県立考古博物館)



手前から時計回りにアタセザリ・短玉・うしろの短玉(短玉のうしろの短玉は、東区画出土品)



うしろの短玉

第2埋葬施設

第1埋葬施設の北隣りにあるこの棺は、長さ4.8m、長い板を組み合わせ、3つの空間を設けています。玉砂利を施した床に眠るのは、茶すり山王を支えた有能な人物。遺骨はなく、男女の別は不明です。



西上から見た第2埋葬施設の全景(写真提供:兵庫県立考古博物館)

【東区画(上)・西区画(下)】

東区画ではミニチュアの鉄製農具と工具、西区画では、束ねられた鉄の矢じりが出土しました。ここに眠る人は、農・工事に長けた人物だったのでしょう。武器は少なく、茶すり山王とは対照的な存在だといえます。



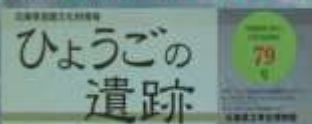
【手前より時計回りに】
矢じり・短剣・短刀・短刀・短刀
一部を短く、実用面ではありません。
茶すり山王の短剣から短くなった。
刀・短剣(2個)と比べると、
その小ささは明らかです。



東区画(農具・工具)の出土状況(写真提供:兵庫県立考古博物館)

国指定史跡 茶すり山古墳(朝来市) 概説 ひょうごの遺跡 79号より

国指定史跡 茶すり山古墳(朝来市) 古フン時代(5世紀)の円墳 直径約90m



北近畿豊岡自動車道建設予定地内にある茶すり山古墳は平成13～14年度に本発掘調査した結果、径約90m、近畿地方最大級の円墳であることが判明。埋葬施設からは膨大な鉄製品などが出土し、それらは畿内の大古墳の副葬品の数々と似ていることから、古墳の被葬者は畿内政権と密接な関係にある「但馬の王」と考えられます。

国・県・朝来市は貴重な古墳を保存するため、協議した結果、工法・ルートを変更し、保護しました。平成16年には国史跡に指定され、古墳公園として埋葬施設を忠実に再現整備。また、すぐ近くのSA道の駅「但馬のまほろば」には朝来市埋蔵文化財センタも併設され、展示施設「古代まほろば館」には古墳のの全容が解るように解説展示しています。

1 姿を現した但馬の王墓 茶すり山古墳(朝来市)





2020.9.4. 茶すり山古墳

大型台風襲来直前の目まぐるしく変わる天候 大粒の雨が降り出し、
古墳をいつまでも見ておれず、すぐ東 高速道路の道の駅「但馬のまほろば」に
併設されている朝来市埋文センター「古代あさご館」へ展示を見に行く

国指定史跡 茶すり山古墳(朝来市) 古フン時代(5世紀)の円墳 直径約90m

もう数十年前 何度も原チャリで走った和田山周辺。車で高速道を何度も通り抜けましたが、和田山周辺の古墳群がこんなにきれいに整備されているのにびっくり。池田古墳も今は陸橋で越えてきっちり保存されている。播磨・丹波・但馬を結び今も交通の要衝和田山。 自然の環境の中で、但馬の大王の墓健在がうれしい。交通網の整備と共に古墳群も整備されたのでしょうか、兵庫のど真ん中の中国山地で、きっちり古墳が保存されていました。やっぱり現地は歩かねば...と今日の終点朝来の埋文センターへ。

国指定史跡 茶すり山古墳(朝来市) 古墳時代(5世紀)の円墳(直径約90m)



茶すり山古墳
●茶すり山古墳

朝来埋蔵文化センター

○山東SA 道の駅但馬まほろば

県道136

●道の駅
埋文センター口

Google Earth 茶すり山古墳【5】 茶すり山古墳から埋蔵文化センターへ
北近畿自動車道山東SAに併設された埋文センター。

高速道路ならばすぐわかるのですが、県道から入る入口が解らずいたり来たりて
こずりました。 結局分かったのは県道136号線からの1か所以外タマと。

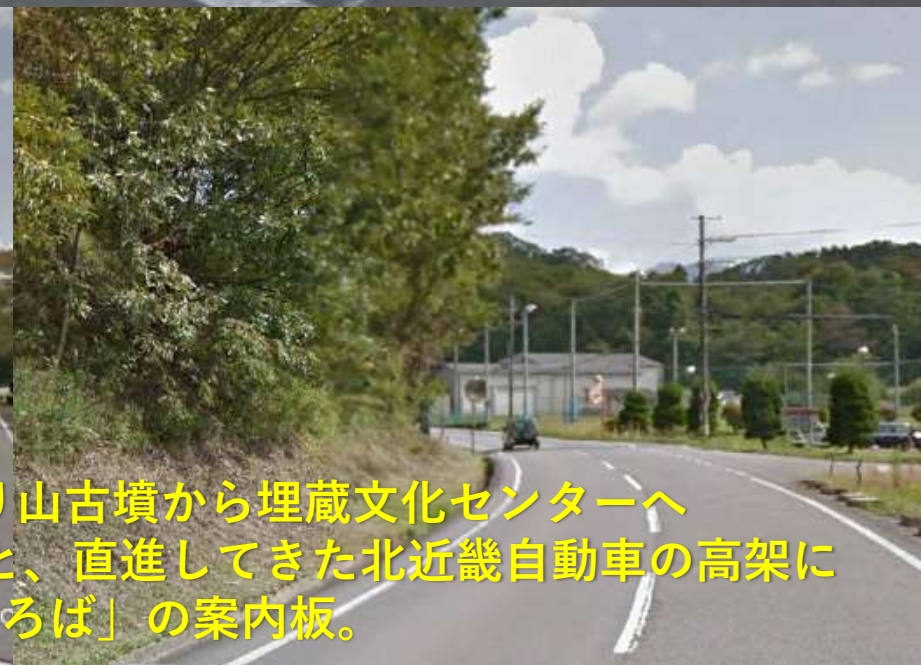
Google Earth



北近畿豊岡自動車道の山東パーキングエリア（道の駅 但馬のまほろば）内には、茶すり山古墳をはじめ、発掘調査によって朝来市内から発見された出土遺物を展示する施設として、「古代あさご館」が平成18年7月から開館しています。道の駅利用者が短時間でも埋蔵文化財を理解出来るように、わかりやすい展示を行っています。

またこの敷地内には朝来市埋蔵文化財センターが併設。「古代あさご館」はその展示施設でもある。

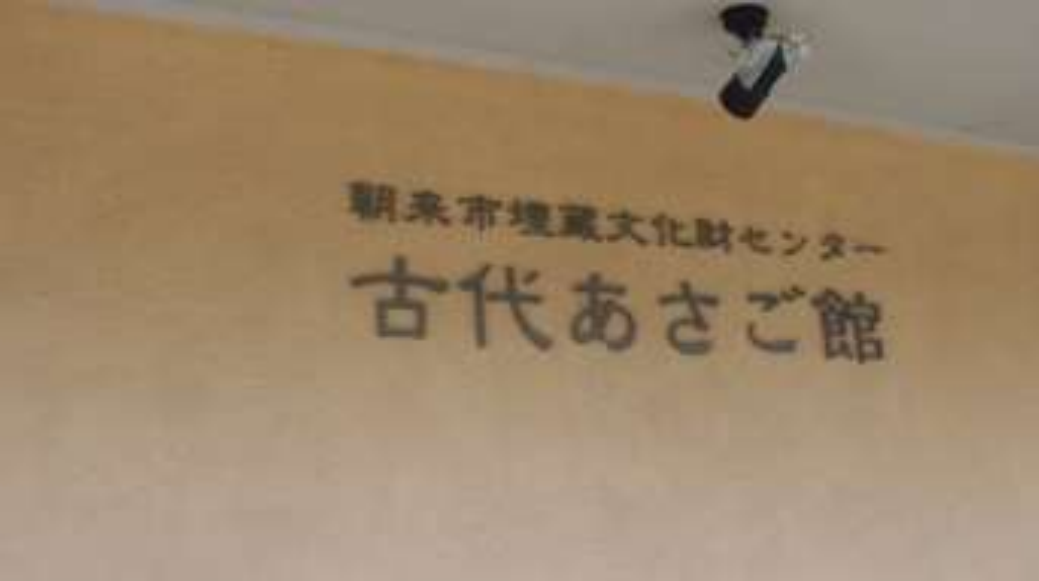
茶すり山古墳の関連施設「古代あさご館」(山東パーキングエリア内)



Google Earth 茶すり山古墳【6】 茶すり山古墳から埋蔵文化センターへ
県道136号を東から北へ茶すり山を巻くと、直進してきた北近畿自動車の高架に
出会う。その手前に道の駅「但馬のまぼろば」の案内板。



Google Earth 茶すり山古墳【7】 茶すり山古墳から埋蔵文化センターへ
 あとは道なり。今度は山東側から茶すり山をながめて、埋文センターへ
 よく理解していなかったのですが、場所は山東SAの中。ほかの道からは車は行けず。



2020.9.4. 朝来市埋蔵文化センター展示館「古代朝来館」
この和田山の地には古墳時代から古代の古墳がいくつもあり、和田山の
地の解説とともに、古墳群から出た出土品が展示されていました。

茶すり山古墳は、直径約90mの円墳です。円墳としては近畿で最大で、2つの木棺から4面の鏡をはじめ、数多くの鉄製品が出土しました。中でも、武器や武具の多さは目を見張るものがあります。

茶すり山古墳

茶すり山古墳は、直径約90mの円墳です。円墳としては近畿で最大で、2つの木棺から4面の鏡をはじめ、数多くの鉄製品が出土しました。中でも、武器や武具の多さは目を見張るものがあります。





茶すり山古墳





2020.9.4. 国史跡 茶すり山古墳
美しい但馬の秋景色。小さい秋 み～つけ。



2020.9.4. 国史跡 茶すり山古墳
美しい但馬の秋景色。小さい秋 み～つけ。



天空に浮かぶ竹田城



竹田城の展望台立雲峽

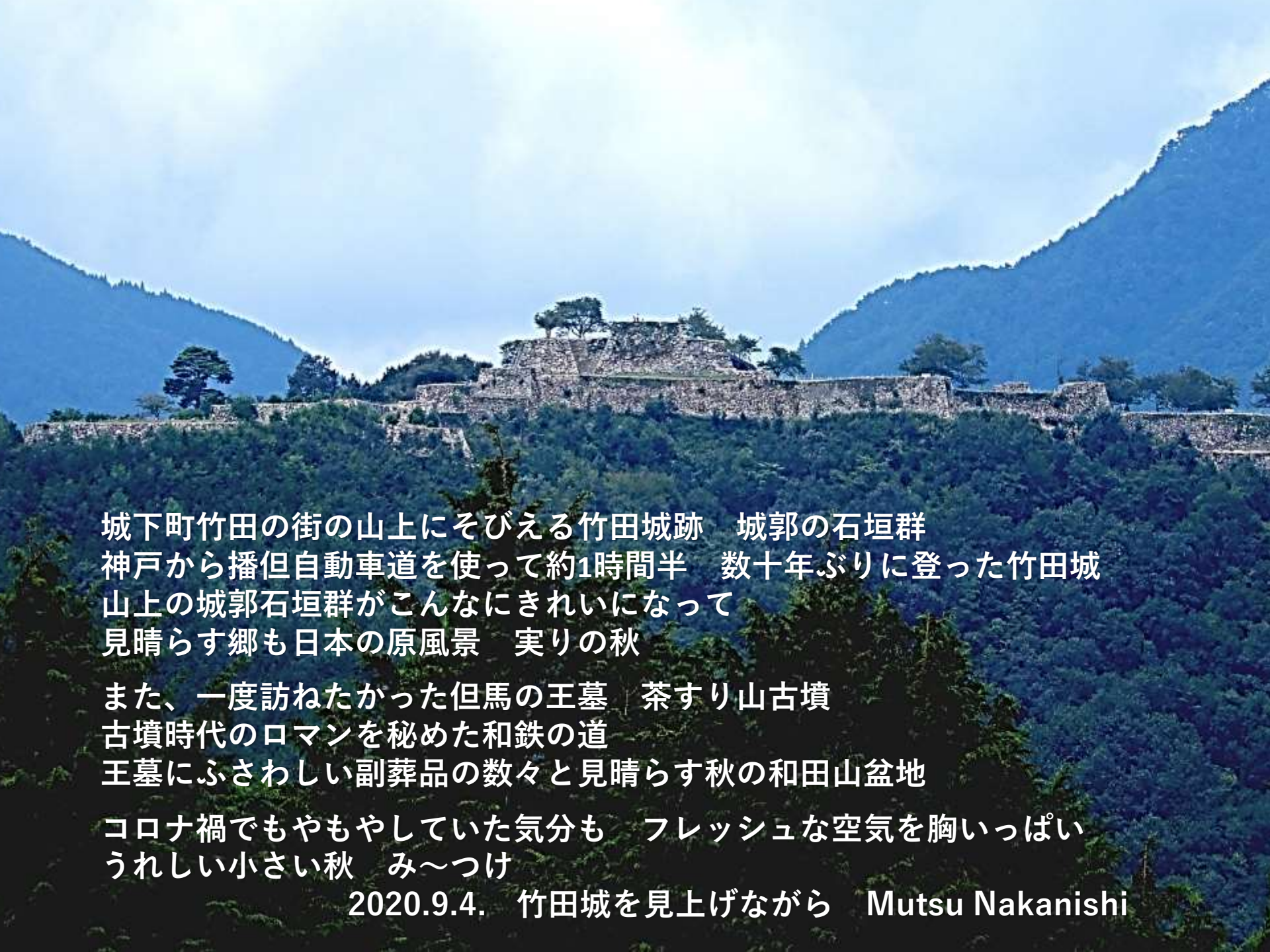


竹田城展望食事



茶すり山古墳 竹田城遠望





城下町竹田の街の山上にそびえる竹田城跡 城郭の石垣群
神戸から播但自動車道を使って約1時間半 数十年ぶりに登った竹田城
山上の城郭石垣群がこんなにきれいになって
見晴らす郷も日本の原風景 実りの秋

また、一度訪ねたかった但馬の王墓 茶すり山古墳
古墳時代のロマンを秘めた和鉄の道
王墓にふさわしい副葬品の数々と見晴らす秋の和田山盆地

コロナ禍でもやもやしていた気分も フレッシュな空気を胸いっぱい
うれしい小さい秋 み～つけ

2020.9.4. 竹田城を見上げながら Mutsu Nakanishi

播磨/但馬の境生野峠の北但馬路 朝来市竹田

天空に浮かぶ竹田城 再訪 2020.9.4.

但馬の天空に浮かぶ竹田城 & 但馬の王墓 茶すり山

**秋の訪れにほっと一息 小さい秋探しに但馬へ
小さい秋み～つけ**

2020.9.4. 竹田の街の南 中国山地生野峠から円山川が流れ下る谷筋
標高353m城山の山上 竹田城より

By Mutsu Nakanishi